安全データシート

Copyright,2016, 3M Company
All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	06-0792-9	版	10.01
発行日	2016/07/13	前発行日	2016/06/21

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
3M™　肉もち　シーラー 8533

3M ストックナンバー
JS-3000-0080-4

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	ｵｰﾄ･ｱﾌﾀｰﾏｰｹｯﾄ 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分２
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分２Ａ
皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分２
生殖毒性：区分１
発がん性： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分１
水生環境有害性　（急性）： 区分２
水生環境有害性　（長期間）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム

危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H319	強い眼刺激。
H315	皮膚刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
H351	発がんのおそれの疑い。
H371	臓器の障害のおそれ： 心・血管系。 神経系。 腎臓。 呼吸器
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害。 神経系。 呼吸器 感覚器。
H401	水生生物に有毒。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P281	指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
合成ゴム	営業秘密	10 - 30
メチルイソブチルケトン	108-10-1	15 - 25
タルク	14807-96-6	7 - 13
ブチルフェノール樹脂	なし	3 - 7
変性フェノール樹脂	なし	3 - 7
エチレングリコール	107-21-1	1 - 5
酸化マグネシウム	1309-48-4	1 - 5
サリチル酸	69-72-7	1 - 5
二酸化チタン	13463-67-7	1 - 5
酸化亜鉛	1314-13-2	1 - 5
0-クレゾール	95-48-7	0 - 1
フェノール	108-95-2	0 - 1
トルエン	108-88-3	30

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
本製品にはエチレングリコールが含まれている。エチレングリコールによる毒性症状が発現したと考えられる場合は、医療処置として、ホメピゾールまたは、エタノール（ホメピゾールを推奨するが、ホメピゾールが入手できない場合はエタノール）を静脈注射すること。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：可燃性液体および可燃性固体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

特有の危険有害性
火災の熱で密封している容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
炭化水素類	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐため使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域より退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。－ 禁煙。
火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。
大量にこぼれた場合、あるいは区切られた場所でこぼれた場合は、粉塵、蒸気の強制換気を行う。
警告！モーターは着火源になるーモーターは漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気に燃焼させ、爆発させる可能性がある。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
水性膜泡消火剤で漏洩箇所を覆う。
ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。
吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。
出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。
責任者が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気で換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従うこと。　容器を密封する。　回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は専門家用に使用を限定する。 密閉された、換気の良くない場所で使用しないこと。
安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。－ 禁煙。
火花を発生させない工具を使用すること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
眼，皮膚，衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱後は手指をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。
酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。
熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。
酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチレングリコール	107-21-1	ACGIH	CEIL（エアゾールとして）：100 mg/m3	A4：ヒト発がん性物質として分類できない
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACGIH	TWA：20ppm、STEL：75ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	JSOH OELs	TWA（８時間）：200 mg/m3(50 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
トルエン	108-88-3	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒト発がん性物質として分類できない
トルエン	108-88-3	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
トルエン	108-88-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：188 mg/m3(50 ppm)	皮膚
フェノール	108-95-2	ACGIH	TWA：5ppm	経皮毒性、Ａ４：ヒト発がん性物質として分類できない。
フェノール	108-95-2	JSOH OELs	TWA（８時間）：19 mg/m3（5 ppm）	皮膚
酸化マグネシウム	1309-48-4	ACGIH	TWA（吸入性分画）：10 mg/m3	A4：ヒト発がん性物質として分類できない
二酸化チタン	13463-67-7	ACGIH	TWA：10 mg/m3	A4：ヒト発がん性物質として分類できない
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA（呼吸性ダストとして）（８時間）：1mg/m3、TWA(	

			総ダストとして）（８時間）：4mg/m3	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA（呼吸性分画）：2 mg/m3	A4：ヒト発がん性物質として分類できない
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA（呼吸性ダストとして）（８時間）：0.5mg/m3、TWA（総ダストとして）（８時間）：2mg/m3	
クレゾール（オルト、メタ、パラ）	95-48-7	ISHL	TLV（８時間）：５ ppm	
クレゾール（オルト、メタ、パラ）	95-48-7	JSOH OELs	TWA（８時間）：２２ mg/m3(5pppm)	皮膚
O-クレゾール	95-48-7	ACGIH	TWA（吸入分画と蒸気）：20 mg/m3	経皮毒性、Ａ４：ヒト発がん性物質として分類できない。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた目・顔の保護具を選択・使用する。下記の目・顔の保護具を推奨します。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露状況を評価し、必要と判断される場合には吸入防止装置の一部として、以下の呼吸保護具の中から選択する。
有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形送気マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
形状、色、臭い	溶剤臭、灰色
臭いの閾値	*データはない。*
pH	*データはない。*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	111 °C［*詳細：*トルエン］
引火点	4 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	1.2 容量%
燃焼点（上限）	8 容量%
蒸気圧	3,200 Pa
蒸気密度	2.5 ［*参照基準：*空気＝1］
密度	*データはない。*
比重	1.04 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	536 g/l
揮発分	50 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花ないし炎

混触危険物質

強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。
また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合
激しい眼への刺激：症状には発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害を含むことがある。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：症状は発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水泡、ひび、痛みを含むことがある。

吸入した場合
吸入すると有害のおそれ　気道刺激：症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。
以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

飲み込んだ場合
胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある）。
以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
心臓への影響：徴候・症状には不整脈、脈拍数の変動、心筋障害、心不全を含むことがあり、致命的な場合がある。
中枢神経の抑制：徴候・症状は頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失を含む。
神経への影響：症状は性格の変化、共調欠除、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧及び心拍数の変化を含むことがある。
吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。
腎臓・膀胱への影響：徴候・症状は尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛を含むことがある。

長時間又は反復暴露した場合：
塵肺症：徴候・症状は持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化を含むことがある。
症状としては、ぼやけたり、重大な視力障害を含むかもしれない。
聴覚への影響：症状としては、聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りを含むことがある。
嗅覚への影響：症状は嗅覚能力の低下もしくは嗅覚の完全な消失を含むことがある。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害を引きおこす可能性のある化学物質または化学物質の混合物を含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を単体あるいは混合物として含むことがある。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気(4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値20 - 50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
トルエン	皮膚	ラット	LD50 12,000 mg/kg
トルエン	吸入－蒸気(4 時間)	ラット	LC50 30 mg/l
トルエン	経口摂取	ラット	LD50 5,550 mg/kg
メチルイソブチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 16,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	吸入－蒸気(4 時間)	ラット	LC50 >8.2,<16.4 mg/l
メチルイソブチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 3,038 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
サリチル酸	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
サリチル酸	経口摂取	ラット	LD50 891 mg/kg
酸化亜鉛	皮膚		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
酸化マグネシウム	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
酸化マグネシウム	経口摂取	ラット	LD50 3,870 mg/kg
酸化亜鉛	吸入－粉塵/ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 5.7 mg/l
酸化亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
エチレングリコール	経口摂取	ヒト	LD50 1,600 mg/kg
エチレングリコール	吸入－粉塵/ミスト（4 時間）	その他	LC50 推定値 5 - 12.5 mg/l
エチレングリコール	皮膚	ウサギ	9,530 mg/kg
二酸化チタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
二酸化チタン	吸入－粉塵/ミスト（4	ラット	LC50 > 6.82 mg/l

	時間)		
二酸化チタン	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
O-クレゾール	皮膚	ウサギ	LD50 890 mg/kg
O-クレゾール	吸入ー蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 24.5 mg/l
O-クレゾール	経口摂取	ラット	LD50 121 mg/kg
フェノール	吸入ー蒸気		LC50 推定値 2 - 10 mg/l
フェノール	皮膚	ラット	LD50 670 mg/kg
フェノール	経口摂取	ラット	LD50 340 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トルエン	ウサギ	刺激物
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
サリチル酸	ウサギ	刺激性なし
酸化マグネシウム	専門家による判断	刺激性なし
酸化亜鉛	ヒト及び動物	刺激性なし
エチレングリコール	ウサギ	わずかな刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
フェノール	ラット	腐食性

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トルエン	ウサギ	中程度の刺激
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
サリチル酸	ウサギ	腐食性
酸化亜鉛	ウサギ	軽度の刺激
エチレングリコール	ウサギ	軽度の刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
フェノール	ウサギ	腐食性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トルエン	モルモット	感作性なし
メチルイソブチルケトン	モルモット	感作性なし
サリチル酸	マウス	感作性なし
酸化亜鉛	モルモット	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレングリコール	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化チタン	ヒト及び動物	感作性なし
フェノール	モルモット	感作性なし

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
サリチル酸	マウス	感作性なし

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	感作性なし

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
トルエン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vivo	変異原性なし
メチルイソブチルケトン	In vitro	変異原性なし
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
サリチル酸	In vitro	変異原性なし
サリチル酸	In vivo	変異原性なし
酸化マグネシウム	In vitro	変異原性なし
酸化亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレングリコール	In vitro	変異原性なし
エチレングリコール	In vivo	変異原性なし
二酸化チタン	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vivo	変異原性なし
フェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
トルエン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化マグネシウム	特段の規定はない。	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレングリコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	吸入した場合	ラット	発がん性
フェノール	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トルエン	吸入した場合	雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 2.3 mg/l	1 世代
トルエン	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	LOAEL 520 mg/kg/day	妊娠期間中
トルエン	吸入した場合	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雌性生殖毒性なし	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	経口摂取	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	器官発生期
タルク	経口摂取	発生毒性なし	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
サリチル酸	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 75 mg/kg/day	器官発生期
酸化亜鉛	経口摂取	繁殖・発生毒性に関する陽性データが見られるが、分類するには不十分	多種類の動物種	NOAEL 125 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
エチレングリコール	皮膚	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 3,549 mg/kg/day	器官発生期
エチレングリコール	経口摂取	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 750 mg/kg/day	器官発生期
エチレングリコール	吸入した場合	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	器官発生期
フェノール	経口摂取	雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 321 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 321 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トルエン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
トルエン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
トルエン	吸入した場合	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 0.004 mg/l	3 時間
トルエン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	LOAEL 0.1 mg/l	2 時間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 0.9 mg/l	7 分
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	脈管系	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	NOAEL 非該当	非該当

メチルイソブチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 900 mg/kg	適用しない。
酸化マグネシウム	吸入した場合	呼吸器系	全て陰性	ヒト	NOAEL 非該当	
エチレングリコール	経口摂取	心臓 | 神経系 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
エチレングリコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
エチレングリコール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
フェノール	皮膚	造血システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 108 mg/kg	非該当
フェノール	皮膚	心臓 | 神経系 | 腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	LOAEL 107 mg/kg	24 時間
フェノール	皮膚	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
フェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	適用しない。
フェノール	経口摂取	呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
フェノール	経口摂取	内分泌系 | 肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 224 mg/kg	適用しない。
フェノール	経口摂取	心臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トルエン	吸入した場合	聴覚系 | 神経系 | 眼 | 嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 2.3 mg/l	15 月
トルエン	吸入した場合	心臓 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	内分泌系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	4 週
トルエン	吸入した場合	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 非該当	20 日
トルエン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	8 週
トルエン	吸入した場合	造血器系 | 脈管系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
トルエン	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	心臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	肝臓 | 腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 600 mg/kg/day	14 日
トルエン	経口摂取	内分泌系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	28 日
トルエン	経口摂取	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	4 週

メチルイソブチルケトン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	心臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 0.8 mg/l	2 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 0.4 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器系	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 4.1 mg/l	14 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	内分泌系 | 造血器系	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	神経系	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	心臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 呼吸器系	全て陰性	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/day	120 日
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症 | 呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 18 mg/m3	113 週
サリチル酸	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	3 日
酸化亜鉛	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	10 日
酸化亜鉛	経口摂取	内分泌系 | 造血器系 | 腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	その他	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月
エチレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱 | 脈管系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	心臓 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 筋肉	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 12,000 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 神経系 | 眼	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
二酸化チタン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
二酸化チタン	吸入した場合	肺線維症	全て陰性	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フェノール	皮膚	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ウサギ	LOAEL 260 mg/kg/day	18 日
フェノール	吸入した場合	心臓 | 肝臓 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	モルモット	LOAEL 0.1 mg/l	41 日
フェノール	吸入した	神経系	長期ばく露又は反復ばく露に	多種類	LOAEL 0.1	14 日

	場合		よる臓器障害のおそれ	の動物種	mg/l	
フェノール	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フェノール	吸入した場合	免疫システム	全て陰性	ラット	NOAEL 0.1 mg/l	2 週
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 12 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	造血器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	マウス	LOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 308 mg/kg/day	13 週
フェノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	内分泌系	全て陰性	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	皮膚 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 1,204 mg/kg/day	103 週

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
トルエン	吸入有害性
メチルイソブチルケトン	陽性データはあるが、分類には不十分。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。
セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性（長期間）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
合成ゴム	営業秘密		分類にデータが利用できない、あるいは不足している			

			。			
エチレングリコール	107-21-1	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	8,050 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	10,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ミジンコ	実験	21 日	有効濃度は観察されない。	100 mg/l
酸化マグネシウム	1309-48-4		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
メチルイソブチルケトン	108-10-1	金魚	実験	24 時間	LC50	460 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	170 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	400 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	32 日	有効濃度は観察されない。	57 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	21 日	有効濃度は観察されない。	7.8 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	緑藻類	実験	48 時間	有効濃度は観察されない。	36 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ニジマス	実験	96 時間	LC50	8.4 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	緑藻類	実験	96 時間	EC50	65 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	9.5 mg/l
フェノール	108-95-2	ニジマス	実験	30 日	有効濃度は観察されない。	2 ug/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	11 日	有効濃度は観察されない。	0.5 mg/l
フェノール	108-95-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5.02 mg/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.2 mg/l
フェノール	108-95-2	緑藻類	実験	96 時間	EC50	61.1 mg/l
サリチル酸	69-72-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	870 mg/l
タルク	14807-96-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	シープスヘッドミノウ	実験	96 時間	LC50	>240 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	甲殻類	実験	96 時間	EC50	>300 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	30 日	有効濃度は観	3 mg/l

					察されない。	
二酸化チタン	13463-67-7	魚	実験	30 日	有効濃度は観察されない。	>=1,000 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.78 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	96 時間	LC50	5.5 mg/l
トルエン	108-88-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	12.5 mg/l
トルエン	108-88-3	シープスヘッドミノウ	実験	28 日	有効濃度は観察されない。	3.2 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.046 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.2 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	チヌークサーモン	実験	96 時間	LC50	0.23 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度は観察されない。	0.021 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フェノール	108-95-2	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	1.11 日（t 1/2）	別法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	2.28 日（t 1/2）	別法
トルエン	108-88-3	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	5.38 日（t 1/2）	別法
酸化亜鉛	1314-13-2	推定値 加水分解		加水半減期	10 時間（t 1/2）	別法
二酸化チタン	13463-67-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
酸化マグネシウム	1309-48-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
合成ゴム	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

		不足している。				
トルエン	108-88-3	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	100 重量%	OECD 301C-MITI(1)
エチレングリコール	107-21-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	90 重量%	OECD 301C-MITI(1)
フェノール	108-95-2	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	85 重量%	OECD 301C-MITI(1)
サリチル酸	69-72-7	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	88.1 重量%	OECD 301C-MITI(1)
0-クレゾール	95-48-7	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	86 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	84 重量%	OECD 301C-MITI(1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
酸化マグネシウム	1309-48-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
合成ゴム	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
0-クレゾール	95-48-7	実験 BCF－その他		生物濃縮係数	10.7	OECD 305E- 生態濃縮魚類
酸化亜鉛	1314-13-2	実験 BCF－その他	56 日	生物濃縮係数	<217	OECD 305E- 生態濃縮魚類
二酸化チタン	13463-67-7	実験 BCF－その他	42 日	生物濃縮係数	9.6	別法
エチレングリコール	107-21-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.36	別法
トルエン	108-88-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.73	別法

フェノール	108-95-2	実験 生態濃縮		オクタノール /水 分配係数	1.46	別法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生態濃縮		オクタノール /水 分配係数	1.31	別法
サリチル酸	69-72-7	実験 生態濃縮		オクタノール /水 分配係数	2.26	別法

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １１３３ 接着剤

輸送分類（IMO）：３　引火性液体類

輸送分類（IATA）：３　引火性液体類

容器等級：I

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は2016年6月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

	法規名		
成分	**安衛法通知政令番号**	**ＰＲＴＲ政令番号**	**毒物及び劇物取締法**
二酸化チタン	191（二酸化チタン）	該当なし。	該当なし。
0-クレゾール	141（クレソール） 141（0-クレゾール）	該当なし。	該当なし。
酸化亜鉛	188（酸化亜鉛）	該当なし。	該当なし。
トルエン	407（トルエン）	第１種300（トルエン）	該当なし。
エチレングリコール	75（エチレングリコール）	該当なし。	該当なし。
フェノール	474（フェノール）	該当なし。	該当なし。

メチルイソブチルケトン	569 (メチルイソブチルケトン)	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
消防法：危険物第４類第１石油類
船舶安全法：引火性液体類
労働安全衛生法：施行令別表第三第二項 特化則第二類物質
労働安全衛生法：施行令１８条の２ 名称等を通知すべき有害物
ＰＲＴＲ法：第１種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション１：製品名 情報修正.

免責事項：この安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。